

洞 流

けんりゅう



The Highlight

- P2~4 五農PTA活動2025
- P5~7 五農できごと2025
- P8 農業クラブ活動
- P9 学科紹介
- P10 部活動紹介
- P11 進路指導
- P12 保健室より

五農 PTA活動2025

PTA活動の振り返り

PTA会長 三浦大介



会員の皆様

日頃より五農 PTA へのご協力をいただき、心より感謝申し上げます。早いもので本年も残りわずかとなりました。巻頭の場を利用し、私視点での活動の振り返りをさせていただきます。

春の田植え競技会は、農業高校ならではの行事であり、一見の価値があります。まだご覧になったことのない方はぜひ一度ご参加ください。

夏の立佞武多は、昨年の病欠から二年ぶりに参加を果たし、熱い五農魂を持って皆さんと練り歩きました。この時期へ移行したあいさつ運動は今年度も参加者が少なく、改善の余地あります。

秋の環境整備では、参加者それぞれが花木の剪定を行い、心地の良い汗を流しました。五農祭での餅つきは、コロナ禍前の形式に戻り体育館内で実施。杵が振り下ろされる度、周囲に一体感が生まれ大変盛況でした。ただ、昨年よりもち米が多く、餅つき担当の我々は嬉しい悲鳴を上げながら大いに汗をかきました(笑)。お手伝いいただいた保護者の皆様、先生方、生徒の皆様、改めてありがとうございました。

PTA 活動ではありませんが、「地域との繋がりを学ぶ教室」にてライスボールさんのライブがあると目にし、彼女たちの歌に最近ハマっている私は仕事を休んで参加しました。意外にも保護者の参加も多く、本格的なライブ感、そして握手でのお別れと、衝撃的で大変素晴らしい時間でした!これを読んでくださっている皆さん、来年もあれば、ぜひご参加されることをお勧めします!

諸事情により参加が叶わなかった行事もありましたが、我が子の多様な姿や表情を垣間見ることができ、親として非常に満足した一年でした。当初 PTA は「子供のため」と思って携わっていましたが、気づけば私自身にとっても貴重な経験を積む場となっていました。幾多のご経験に感謝しております。

最後に、来春の総会をもって会長の役目を終えますが、これまで支えて下さいました皆様に重ねて御礼申し上げますとともに、今後も PTA 活動へのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。



PTA総会

4月19日にPTA総会が行われ、令和6年度の事業・収支決算報告、令和7年度の事業・予算案が審議され、令和7年度のPTA役員の紹介も行われました。

主なPTA活動

4月

14日 令和6年度PTA監査三役会
19日 令和7年度PTA総会
学校公開日 保護者53名参加

5月

15日 全校田植え大会
17日 本校PTAだより春号発行

6月

13日 体育大会 飲料の提供

7月

11日 研修・健全育成役員会
各学年委員会
PTA第1回役員会

8月

4・6・8日
五所川原立佞武多参加
保護者のべ61名
参加飲料の提供

27日~29日
あいさつ運動
保護者2名参加

9月

18日 全校稻刈り大会

10月

11日 環境整備 保護者10名参加

11月

1~2日
五農祭(振る舞い餅作成)
保護者30名参加

12月

23日 PTAだより「涓流」発行

令和8年

3月

下旬 PTA第2回役員会

4月

中旬 令和7年度PTA監査

高P連県大会

高P連県大会はむつ市で開催されました。本校は県広報紙コンクールで県最優秀賞を受賞しました。



高P連東北大会

高P連東北大会は仙台市で行われました。広報紙コンクール東北大会においても最優秀賞を受賞しました。



高P連全国大会

高P連全国大会は、三重県で行われました。記念講演では、井村屋株式会社代表取締役会長の中島信子氏の講演がありました。



あいさつ運動

8月27日～29日の3日間で行われ、PTA会員の他本校校紀委員の生徒も一緒にあいさつ運動に参加しました。



環境整備

今年のPTAによる環境整備はサッカー場と陸上競技場の間の花木（レンギョ）のせん定を行いました。せん定後はかなり風通しが良くなったようです。



餅つき

五農祭恒例のPTAによる餅つきは、本校生徒や来場客の力を借りて行いました。ついた餅はきなこをまぶして、来場客に振る舞われました。



五農 できごと 2025

全校 田植え 競技会

保護者の声援のもと、「はれわたり」の苗を泥だらけになる生徒もいましたが頑張って植えていました。



入学式



今年度から環境土木科と森林科学科が募集停止となり、環境科学科が新設され3学科でスタートし、環境科学科新入生34名を含めた92名が五農に入学しました。

農業鑑定 競技

農業鑑定競技は、自分の所属している学科に関する知識や技術を競い合います。成績優秀者は学校代表として全国大会に出席することができます。



体育大会

今年の体育大会は、一風変わった「玉入れ」などの競技が行われ、生徒は楽しんで競技に参加していました。



五農立伝武多

今年の五農立伝武多の題目は「草薙剣（くさなぎのつるぎ）」です。製作はギリギリまで掛かりましたが、組立上がった立伝武多を見たときは立伝武多俱楽部の生徒は歓声を上げていました。

運行は3日間になりましたが、各日とも生徒は熱心に踊りに取り組んでいました。



秋晴れのもと全校稲刈り大会が開催されました。全校田植え競技会で植えた「はれわたり」を刈り取り、結束し、棒掛けまでを行います。最後に落ち穂も拾って出来秋に感謝です。



五農祭



「笑顔満祭～楽しみあふれたその顔で～」をテーマに五農祭が開催されました。校内展示・農産物販売に多くの来場者があり、今年も開催した「五農マルシェ」にも多くの出店がありました。



収穫感謝祭

五農祭が終わったら、恒例の収穫感謝祭（焼肉）です。生徒は自分たちでもってきた様々な材料を焼いておいしくいただきました。



第76回青森県学校農業クラブ連盟大会

6月19日～20日 五所川原農林高等学校

本校を主会場として農業クラブ県大会が開催されました。

発表部門

プロジェクト発表会 第Ⅲ類

最優秀賞

ウルシの増産と林福連携

対馬 健太(3F) 杉田 旭(3F)

蝦名 優弥(3F) 新木駿ノ介(2F)

櫛引 悠惟(2F) 能登谷倅明(2F)

意見発表会 第Ⅲ類

最優秀賞

農業高校フードバンクから始まる笑顔の輪

小田桐優羽(3G)



技術競技部門

家畜審査競技会 肉牛の部

最優秀賞

秋田谷実季(1S)



ポスター・スローガン部門

大会ポスターの部

最優秀賞

葛西 聖菜(3C)



発表部門の最優秀賞部門は東北大会に、フラワーアレンジメント競技の最優秀賞は産業教育フェア全国大会に出場しました。

第76回日本学校農業クラブ東北連盟大会

8月21日～22日 山形県

農業クラブ東北大会は山形県で行われました。



第76回日本学校農業クラブ全国大会

10月22日～23日 山梨県・東京都・神奈川県

農業クラブ全国大会は山梨県を主会場に行われました。

農業鑑定競技会 野菜 優秀賞 中里 百花(3G)



学科紹介

food Chemistry [食品科学科]

原材料、品質管理、食品分析、流通を学び、食品加工や食品製造、六次産業化を探求する。



Environmental engineering [環境土木科]

農業土木設計、農業土木施工、測量を学び、国土保全・環境創造に関する分野を探求する。



Forest science [森林科学科]

林業と自然環境に関する知識や技能を学び、わが国の森林資源の有効活用について探求する。



Growing crops [生物生産科]

水稻、野菜、果樹などの一次産業を柱として、地域産業や社会発展に寄与する能力を育成する。



Sustainability [環境科学科]

林業、農業土木に関する知識と技術を学習します。



環境土木科・森林科学科は令和7年度募集停止、環境科学科は令和7年度新設学科です。

GLOBAL G.A.P.

今年で10年目を迎えたGlobal G.A.P.認証。今年も「コメ」と「リンク」で認証取得を行いました。



GLOBAL GAPとは

G.A.P. (ギャップ) とは、GOOD (適正な) 、AGRICULTURAL (農業の) 、PRACTICES (実践) のことです。GLOBAL G.A.P. (グローバルギャップ) 認証とは、それを証明する国際基準の仕組みを言います。

世界130か国以上に普及し、事実上の国際標準となっています。

欧米の大手小売をはじめ、最近では日本の小売でもGLOBAL G.A.P.などの国際認証を取得した生産者からの仕入れを優先しています。

GLOBAL G.A.P.認証は、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する優良企業に与えられる世界共通ブランド。取引先の信頼性向上、貴社の企業価値向上に貢献します。

(GAP普及推進機構/GLOBAL G.A.P.協議会ホームページより引用)

第35回全国産業教育フェア 福島大会

10月25日~26日 郡山市

第24回全国高校生フラワー アレンジメントコンテスト

銅賞 山本 愛(3G)



部活動紹介



「相撲部」

団体は県高校総体で3位入賞、個人戦で佐藤龍翔(3E)さんが体重別80kg級で2位入賞で東北大会出場し、館岡拳(2E)さんが県新人戦体重別80kg級で2位入賞し、東北新人相撲大会へ出場しました。



「陸上部」

後藤夕陽(1S)さんが県新人陸上大会ハンドマー投げで4位入賞を果たし、東北大会に出場しました。

進路指導

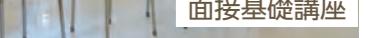
1年 企業・進学見学



2年 インターンシップ



3年



令和7年度卒業生の主な進路先 (12月10日現在)

進学

弘前大学、柴田学園大学、青森中央学院大学、東京農業大学、柴田学園大学短期大学、青森中央短期大学、弘前医療福祉大学短期大学、札幌科学技術専門学校、青森県営農大学校、青森県ビューティー＆メディカル専門学校、青森中央経理専門学校、S.K.K.情報ビジネス専門学校、東奥保育・福祉専門学院、厚生看護専門学校、北日本ハイテクニカルカレッジ、盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校、盛岡ヘアメイク専門学校、仙台ECO動物海洋専門学校、専門学校東北動物看護学院、仙台ピューティーアート専門学校、仙台スイーツ＆カフェ専門学校、仙台デザイン専門学校、仙台医療福祉専門学校、仙台デザイン＆テクノロジー専門学校、日本さかな専門学校、弘前市医師会看護専門学校 他

就職

ホテルグランメール山海荘、株一心亭、株常磐測量設計、株エノモト津軽工場、株竹内組、齋勝建設株、株秋田谷林業、大泉開発株、つがるにしきた農業協同組合、株五所川原中央青果、株こせき、青森ニチレキ株、株コメリ、zipp株、株善世会、株町田アンド町田商会、上北森林組合、株フジモーターズ、星野リゾート界津軽(青錦永)、ENEOSグローブエナジー株北日本支社、株増川プロジェクト技建、弘果 弘前中央青果株、青森綜合警備保障株、青森県農業共済組合、株アストリア、株東北フジパン仙台工場、株フラワーロード、月島食品工業株、野口観光株、株三ツ和 他

公務員

自衛官一般曹候補生、自衛官自衛官候補生



保健室より

行事の様子をお知らせします！

救急法講習会が開催されました！

救急法講習会が開催されました！

10月10日（金）、1年生を対象に救急法講習会が行われました。日本赤十字社青森県支部のボランティア指導員の指導のもと、生徒は心肺蘇生法やAEDの使用方法、担架や毛布による搬送法などについて実技を交えながら学びました。

生徒からは「いざという時に人の命を守るために焦らず落ち着いて行動したい」「今日学んだことを使う時が来たら、自分から率先して動いたり指示を出したい」という感想がありました。

今回の講習会で学び得たことを忘れずに、もしもの場面に遭遇した時は、大切な命を救うために、人任せにすることなく自分から率先して動いてほしいと思います。



五農祭での保健委員会展示 【香害】について知っていますか？

今年度の五農祭で保健委員会は【香害（こうがい）】についての展示を行いました。

【香害】という言葉を知っていますか？香害とは、柔軟剤や化粧品などの合成香料（化学物質）のにおいによって、さまざまな健康被害が生じることをいいます。香りは、癒やし効果やリラックス効果

がある反面、不快を感じたり頭痛や吐き気などのさまざまな身体症状が現れたりと、人によって反応に違いがあります。自分にとっては良い香り、快適においであっても、他の人にとっては不快に感じたり体調を崩す原因となってしまうこともあります。



保健室にも「香り」が原因で体調不良をおこしてやってくる生徒がいます。一人ひとりの理解や配慮が自分自身や周囲の人の健康を守ることにつながります。学校や公共の場、利用者の多い施設等では、香りの強い柔軟剤や香水等の使用を控えるな日々の生活で出来ることから始めてみましょう。



保健室からのお願い

▶ 日本スポーツ振興センター災害共済給付について

お子様が学校の管理下で「けが」などをして受診した場合、日本スポーツ振興センターへ災害共済給付を申請することができますので、養護教諭またはHR担任、部活動の顧問に申し出てください。なお、学校管理下における災害時は、受診時に子ども医療費受給資格証は使用せず一旦お支払いの後、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度へ申請していただきますようお願いいたします。

▶ 引き続き、基本的な感染対策の徹底と朝、各家庭での健康観察をお願いします

校内でのインフルエンザの流行は一旦収束しましたが、今後再流行する可能性もあります。新型コロナウイルス感染症などの感染症も流行していますので、引き続き基本的な感染対策（手洗いや手指消毒、咳エチケット、マスク着用、換気等）や各家庭での朝の健康観察をお願いします。